

ON SALE! 文化振興財団で発売中の公演案内です

第16回桂都丸茨木落語会

「開口一番」 桂 米吉
「茶の湯」 桂 こごろう
「ふたなり」 桂 都丸
仲入
「まんじゅうこわい」桂 都丸

10/27㊥ 19:00開演(18:30開場)
茨木市福祉文化会館(オークシアター)5階文化ホール

■入場料
前売1,700円(当日2,000円)
全席自由席

■財団以外のチケット販売所
細田商事株式会社 0726-35-8431
株式会社富士商会 0726-22-5254
福江酒店 0726-26-3652

劇団いばらき童子2001秋公演「活!地球調査隊」

作:足立紇 演出:ますけ
キャスト:
足立紇、小西義朝、窪田壮史、室田憲子、太田垣綾子、斎藤元昭、
馬場友宏、満田由美子、曾根大樹、安川聡、柿内隆寛

10/31㊥ 19:00開演(18:30開場)
11/1㊥ 19:00開演(18:30開場)
茨木市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール

■入場料
一般前売1,500円(当日1,700円)
高校生以下前売1,000円(当日1,200円)
全席自由席

第4回和太鼓フェスティバル

11/3㊥ 15:00~17:00 ワークショップ
11/4㊥ 13:00開演

第1部:市内アマチュア団体
和太鼓クラブ“翔”、和太鼓サークル楽鼓、総持寺こども太鼓、
翔炎、和太鼓いばらき、和太鼓サークル“遊”、どんどこ、関
西大倉中学・高校「和太鼓同好会」、DOOMU、るんび
に太鼓
(出演順)

第2部:ゲストパフォーマンス/今福 優(いまふく・ゆう 元鬼太鼓座)
ロビー:大道芸/劇団「遊びの玉手箱」

茨木市立上中条青少年センター
■入場無料
■問合せ先
上中条青少年センター 0726-22-5180

2001年 第15回京都芸術祭参加/結成15周年記念
関西フルートオーケストラ第7回定期演奏会

指揮:高橋成典 ハープ:内田奈織 三味線:田邊朝風
メンデルスゾーン:「真夏の夜の夢」より
ヘンデル:ハープ協奏曲
高橋曜子:茨木民謡によるメタモルフォーゼ
團伊玖磨:「夕鶴」幻想曲 ほか

11/25㊥ 14:00開演(13:30開場)
茨木市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール

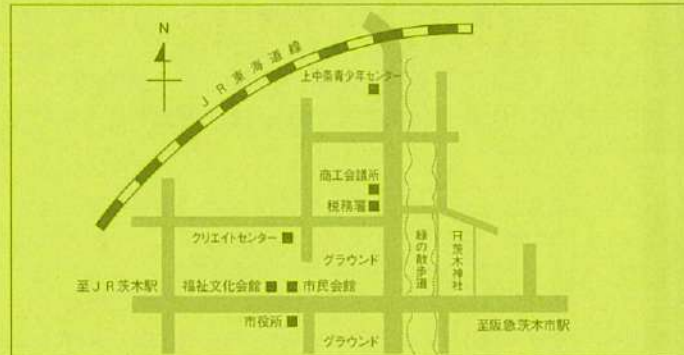
■入場料
前売1,500円(当日2,000円)
全席自由席
■財団以外のチケット販売所
JEUZIA三条本店 5F APEX 075-254-3750
株式会社ドルチェ楽器 06-6377-1117
松村楽器販売株式会社大阪支店 06-6394-6000

森川公美とバリの仲間たちVol.3
トリオ・エウリディーチェ 室内楽コンサート

フルート:森川公美 クラリネット:竹内未緒 ピアノ:檜山和子
サン=サーンス:タランテラ
フォーレ:シシリエンヌ
ジュナン:グラン・デュオ・コンチェルタント
その他、日本の名曲から

12/19㊥ 19:00開演(18:30開場)
茨木市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール

■入場料
一般2,000円 高校生以下1,000円
当日座席指定
■財団以外のチケット販売所
森川宅 0726-43-7778



お申し込み・お問い合わせ:(財)茨木市文化振興財団
TEL 0726-25-3055 / FAX 0726-25-3036
クリエイトセンター1F・月~金・9:00~17:15 (土・日・祝日は休業)

祝 内海町合併50周年 歴史と文学と芸術で結ばれた姉妹の都市が奏でる—バラとオリーブの調べ

感動をおくりたい! “やさしさと活力ある、文化の香り高い都市”をめざして—

財団法人 茨木市文化振興財団

理事長 大石善成

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 クリエイトセンター1F
TEL 0726-25-3055 / FAX 0726-25-3036

編集・発行/(財)茨木市文化振興財団 〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 クリエイトセンター1F TEL0726-25-3055/FAX0726-25-3036

第34回公演

内海町合併50周年記念/茨木市・内海町(姉妹都市)文化交流事業

高橋薫子&茨木市音楽芸術協会コンサート
~バラとオリーブの調べ

【第1部】高橋薫子ソプラノリサイタル

本居長与(岩河智子編):七つの子
歌草川信(岩河智子編):ゆりかごの歌
フォーレ:ネル
フォーレ:夢のあとに
デッラックア:ヴィラネル
モーツァルト:「フィガロの結婚」より 恋とはどんなものかしら
モーツァルト:「ドン・ジョヴァンニ」より ぶつてよマゼット
薬屋の歌
モーツァルト:「コシ・ファン・トゥッテ」より 女も15になれば

ピアノ◎河原忠之

【第2部】茨木混声合唱団・茨木市音楽芸術協会会員・茨木市音楽芸術協会室内合奏団による

バッハ・プログラム

管弦楽組曲第2番より 序曲 ポロネーズ バディネリ
モテットVI Psalm 117 「主をほめたたえよ」
コーヒー・カンタータ BWV 211 「おしゃべりはやめておき下さい」
■合唱◎茨木混声合唱団
■指揮◎前川恵子
■ソプラノ◎野村由美
■テノール◎井場謙一
■バリトン◎富岡順一郎
■茨木市音楽芸術協会室内合奏団
フルート◎飯嶋豊
チェンバロ◎井岡みほ
ヴァイオリン◎岡田英治・服部滋夫・橋本安弘・岡村華・橋爪美紀子
ヴィオラ◎西内泉・磯野寿々子
チェロ◎高瀬恵理也
コントラバス◎石井博和

●入場料
前売3,000円(当日3,500円)
◎65歳以上、24歳以下、障害者及びその介護者は500円引き
※当日座席指定(17:30から座席券と交換します)
※就学前のお子様の入場はご遠慮ください

●チケット販売所
(財)茨木市文化振興財団 0726-25-3055
ローソンチケット 06-6387-1900(Lコード 52276)
※ローソン各店で直接購入できます
※ローソンでは割引の取り扱いはありません

10/23(火) 19:00開演(18:30開場)

茨木市民総合センター(クリエイトセンター)
センターホール



内海町出身、藤原歌劇団
気鋭のソプラノ、高橋薫子さん
を迎えて!



音芸協・2000年ファイナルコンサート(こうもり)より

(財)茨木市文化振興財団第34回公演

内海町合併50周年記念
茨木市・内海町《姉妹都市》文化交流事業

高橋薫子&茨木市音楽芸術協会コンサート ～バラとオリーブの調べ

＊

10月23日(火) 19:00
茨木市クリエイティブセンター・センターホール

恒例となりました「茨木市音楽芸術協会の企画・制作・出演によるコンサート」の5回目は、《バラとオリーブの調べ》—バラは茨木市の市花、オリーブはもちろん小豆島・内海町の町花、町木です。今年は、茨木市の姉妹都市・内海町が誕生して50周年の年。記念の年にちなみ、同町出身のソプラノ・高橋薫子さんをお招きし、交流のコンサートを実施いたします。

ご出演の高橋薫子さんと茨木市音楽芸術協会の飯嶋豊さんにお伺いしました。

まずは高橋薫子さんに—

1990年、藤原歌劇団「ドン・ジョバンニ」のツェルリーナでオペラデビューされてから、目覚ましい活躍が続いています。新国立劇場への出演も相次ぎ、98年「魔笛」のパバゲーナ、00年の新春には「ドン・ジョバンニ」ツェルリーナと「セビリアの理髪師」ロジーナで連続登場、今年7月藤原歌劇団「イル・カンピエッロ」のガスパリーナ、10月モーツァルト劇場「コシ・ファン・トゥッテ」のデスビーナ、11月「ドン・ジョバンニ」のツェルリーナ、新春には「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテルと、出演が続きます。まさに大活躍といってよい充実ぶりです。お忙しい中、快くご出演をお受けいただき、まずはお礼申し上げます。



内海町でお過ごしの際から美声を奏でておられたことと思いますが、音楽との出会い、オペラ歌手をめざされるようになったきっかけなどお聞かせください。

小さい頃からピアノを習っていました。それほど熱心ではなかったのですが、そして中学校の時の音楽の先生にすすめられて、高校時代から歌も習いはじめました。当時はオペラ歌手になれるとも、なりたいたも思った事はなくて、これが私の仕事だと覚悟ができたのはデビュー後だったかもしれません。

先のオペラ出演のほか、オーケストラとの共演（最近では8月にチョン・ミュンファン指揮/東京フィルのオペラコンチェルタンテ「魔弾の射手」にエンヒェン役で出演）や、リサイタル等、実に充実した活動を続けておられるようにお見受けいたしますが、当面の目標とされていること、さらに将来に向かって膨らませておられる夢についてお聞かせください。

音楽の仕事の素晴らしいことは、言い古された言葉ですがまさに「終わりが無い」ところにもあると思います。近頃の私は大きな本番小さな本番といわず、最大限の集中をめざしています。演奏の技術をみがくのはもちろんの事、一つ一つの演奏のイメ

ージを明確にして、それに向かって集中することを求めているのです。そして、私のイメージが聴衆の方々と共感できるようにと願っています。

茨木へのご来演は、95年（岸本力さんとのジョイント）、98年（林誠さん、関西フィルとのニューイヤーコンサート）に続き3度目となります。内海町との姉妹都市交流がご縁となって「高橋薫子」というすばらしい才能の持ち主と出会えたことを心から感謝したいと思います。2度のコンサートで、茨木にも薫子ファンがたくさんおられます。ご来茨を心待ちにされている茨木市民の皆さんにメッセージをお願いします。

茨木市と内海町との関係によって、私と茨木市との間にも暖かい関係が生まれた事を喜んでいます。コンサートで何度も伺う街々のなかでも、これほどの心使いを感じられる場所は他にありません。（いやっ、本当に）茨木の皆様の前で歌うのは、地元で歌うのと同じような喜びや気恥ずかしさを感じられます。今回のコンサートでも新しく心の交流ができるといいなあ、と期待しています。

後になってしまいましたが、薫子さんの良きパートナー、河原忠之さんも95年に続いてのご来茨です。独特の存在感を示されたその時の演奏は、ユニークなコスチュームとともに、強く印象に残っており、お客様からも大変好評でした。薫子さんから、ピアニスト・河原忠之さんの人となりについてあらためてご紹介いただけますでしょうか。

河原さん（本当は君と呼びますが）は大学時代からの同級生で（！？）、私にとって欠かす事のできないピアニストです。イタリアへの留学もほぼ同じ時期でしたし、その後の演奏活動において彼のサポートなしには、やって来れなかったようにも思います。彼のように音楽だけではなく、言葉や声、息遣いに対しても繊細なアプローチができるピアニストはそれほど多くはありません。リードとサポートの絶妙なバランスを保つには、歌い手以上のキャパシティが必要なのです。これからも互いに触発しあって成長していけるようにと願っています。よろしく。

ありがとうございました。

高橋薫子（たかはし・のぶこ）

●プロフィール

小豆島・内海町生まれ。国立音楽大学卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第7期修了。田島好一に師事。1990年、イタリア声楽コンクールでシエナ大賞受賞。同年、モーツァルト没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクール本選入賞。アンナ・ゴットリーブ賞を受賞し、ウィーンフィルと共演。91年から93年まで五島記念文化財団奨学生としてイタリア・ミラノ留学。第2回五島記念文化賞オペラ新人賞、第23回ジロー・オペラ賞新人賞、平成8年度村松賞、第26回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、2001年よんでん芸術文化奨励賞受賞。日本ロッシーニ協会会員。藤原歌劇団団員。

●これからの主な出演予定

オペラ モーツァルト：「ドン・ジョヴァンニ」
11/16(金) 18:30 新国立劇場オペラ劇場 (0120-489459)
18(日) 15:00 同上
20(火) 18:30 同上
オペラ ファンパーディング：「ヘンゼルとグレーテル」
1/10(木) 18:30 新国立劇場オペラ劇場 (0120-489459)
12(土) 15:00 同上

●CD

「永遠の愛と誠」ビクターエンタテイメント
ロッシーニ、ドニゼッティ、ベッリーニのベルカント作曲家による歌曲集
Pl. 河原忠之
「IN THE GARDEN」アルファ株式会社
クラシックからゴスペルまでの讃美歌集 Pl. 河原忠之 Org. 松居直美

＊

《バラとオリーブの調べ》の企画を担当され、ご自身も出演される飯嶋豊さんは大阪フィルハーモニー交響楽団のフルート奏者としてご活躍です。また、当文化振興財団の評議員として、貴重な助言をいただいております。

—オーケストラ活動と平行しての企画、ご出演はご苦労も多いでしょうが、もうしばらくよろしく願いいたします。

音芸協と財団が共同制作するこのシリーズも5回目となりました。今回は、室内合奏団と声楽、合唱によるバッハの作品が並びましたが、企画のねらいや聴きどころについてお聞かせください。

第1部の高橋薫子さんの素晴らしい歌声を聴かせていただいた後に、第2部ではどんなものがかいいいろいろ考えましたが、J.S.Bachに行きつきました。今回は、内海町の50周年ということでたくさんの方々とお祝いができたらと、茨木混声合唱団の皆さんにも参加していただきました。

この他、器楽合奏と、「コーヒーカンタータ」では、コーヒーの大好きな娘と、コーヒーをやめさせようとする父親のコミカルなやりとりを日本語で上演しますのでお楽しみいただけます。

高橋薫子さんは、国立音楽大学の後輩になられますね。先輩から高橋さんへメッセージをどうぞ。

声楽では、佐藤しのぶさん、塩田美奈子さん、錦織健さん等、素晴らしい後輩が揃っていますが、伸びやかな高橋さんの歌声は、私たちに安らぎを与えてくれます。先輩として、また一人のファンとしてこれからの活躍を期待しています。

飯嶋さんは、大阪フィルの活動とは別に、「茨木マイホームサロンコンサート」の運営や、音芸協、その前身の音楽文化協議会での活動等を通して、常にこの地域に根ざして音楽に携わっておられ、音楽を拠り所としたコミュニティづくりに大きな役割を果たしておられると思います。そのような活動について、ご自身では今どのような到達点にあるとお考えですか？ また、未来に向かってどのように描かれていますか？

茨木市音楽芸術協会会長の高橋成典氏が始められた「マイホームコンサート」を「マイホームサロンコンサート」と改め、自分たちの勉強と茨木市の方々に身近に音楽を楽しんでいただこうと始めてから20年が過ぎ、たくさんの方々に聴いていただくことができました。プログラムがマンネリ化しないように仲間たちと話し合うのも楽しみの一つです。到達点ではなく、通過点と考えています。

病気や怪我を治すのが病院であるなら、心の栄養には音楽が一番と考えています。これから、次の世代にバトンタッチして、いつまでもこの活動が続いていこうようになって欲しいと願っています。

最後に出演者を代表していただいて、内海町と茨木市の皆さんへメッセージをどうぞ。

アメリカで大きな事件が発生して心を痛めておりますが、町や市が交流の輪を広げ、大きなハーモニーが生まれますようにいつまでも仲良くしていきたいですね。よろしく願いいたします。

ありがとうございました。
声楽、器楽、合唱等、盛りだくさんのプログラムでおくりする《バラとオリーブの調べ》、どうぞご期待ください！



【音芸協コンサート 1997-2000】

'97年秋・名曲の調べ
1997.10.1(水)
クリエイティブセンター



モーツァルトの歌劇から



シューベルトのピアノトリオ

室内オペラ《タリス》
&打楽器アンサンブルの調べ
1998.8.18(火)
市民会館



ソナテ・フルート四重奏団
1999.10.13(水)
クリエイティブセンター



2000年ファイナルコンサート
2000.12.1(金)
12.2(土)
クリエイティブセンター



愛と恋と情熱のメロディ



オペレッタ《こうもり》